

探

アクリルデッサンチュートリアル 細部描写に入る前にすること



1.

鉛筆で大体の位置を決める。なるべく描きたい対象がしっかり収まって、かつ不要な余白を最小限とするような構図を目指す。そこに意図があれば、少し対象を画面から切りおとしてしまっても良い。今回は真ん中のワインボトルを描いてからボール、木、トマトを描いたら、ちょっと小さかったのが全体的にスケールアップした。線がたくさんになってしまっても後でアクリル絵の具が覆い隠すので大丈夫。



2.

今回は、3原色と白を使って描いていく。黒は最後にどうしても一段黒くしたいところに使うためにとっておく。青色の絵の具を多めの水で溶き、鉛筆を参考に輪郭を決めていく。ワインボトルは工業製品なので、左右対称であることに留意しながら形を決める。



3.
物体が置かれている面と接するところが一番暗い。ワインボトルもとても暗い。画面全体の明暗のバランスを作っていく。



4.
黄色に持ち替え、黄色さを足していく。



5.

赤に持ち替え、赤みを足していく。赤と青が合わさるととても暗くなる。先ほど入れた青に赤を重ねていきながら、とても濃い部分を表現していく。



6.

空間を表現するために、一番大きな部分＝背景を着色する。多めの水で溶いた白・赤黄青で自分の好みのくすみ色を作り、背景を作る。くすんでいればいるほど視覚的に背景が奥に引き込んでいき、空間を表現できる。



7.

布のストライプを書き込んでいく。物体同士の位置関係に注意しながら縞模様を描き、あらゆる曲面（ボウル、ワインボトル、トマト）に移り込んだ縞模様も追っていく。



8.

縞模様の余白部分、ワインボトルのラベル、ワインボトルの光の写り込みなど、画面上でとても「白い」部分に白を載せていく。



9.

布の上ではとても控えめな反射や影が起こっている。ここでは赤を使って少し印をつけた。ここから、さらに布の描き込みを進めたり、木やトマト、バナナを丁寧に描写したり、やることはたくさんであるが、ひとまずデッサンの細部を描写する前の段階として、このぐらいざっくり全体感を構築していくと良い。